

第2学年 国語科学習指導案

日 時：平成21年10月2日（金） 5校時

児 童：第2学年 男16名 女13名 計29名

指導者：福士 晴彦

場 所：2年教室

1 単元名 だいじなところに 気をつけて読もう

教材名 サンゴの海の生きものたち（光村図書「たんぼぼ」2年上）

2 単元について

(1) 単元について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」ことである。本単元に関わる内容としては、「ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」が指導事項となる。

本教材は、サンゴのきれいな海の中で生き物たちが共生していることが書かれた説明的文章である。この文章で取り上げられているサンゴの海に住む生き物について、実際に目にしたことのある児童は非常に少ないと思われることや、イソギンチャクが既習の「スイミー」で登場してきていることなどから、児童が興味関心を持ちながら意欲的に読み進めることができる文章であると考えられる。

文章全体は、10の形式段落に分かれていて、「話題提示」「イソギンチャクとクマノミのかかわり合い」「ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合い」「まとめ」の4つの大段落で構成されている。問題提示の文に着目しながら、かかわり合いを表している重要語句をとらえて読むと、お互いにかかわり合う生き物の生態を容易に読み取ることができる。

以上のことから本単元の目標を「海の生き物たちがどのようにかかわり合っているのかを読み取り、共生の仕組みの不思議さに興味をもつことができる」と設定した。

(2) 児童について

「読み、理解する力」については、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けての音読をすることや、2年上「たんぼぼのちえ」において、時間の順序や理由づけを示す言葉に着目し、その役割に気付くというねらいで指導を行ってきた。その結果、文章を読む場面では、繰り返し出てくる言葉や重要語句に着目しながら、時間や事柄の順序、場面の様子や行動などに気を付けて読むことができるようになってきた。

「論理的に考える力」については、日々の授業の学び合いの場面において、児童が考えを言語化できるよう、自分の考えの根拠を明らかにしながら、話したり、書いたり、読んだりする学習を、ペアでの確かめ合いや話し合いを多く取り入れ、指導してきた。その結果、児童が自分の考えを筋道立てて言語化しようとする姿勢や、自然な形での教え合いが見られるようになってきた。

「表現する力」については、表現方法を必要に応じて具体的に示しながら学習に取り組んできた。「たんぼぼのちえ」の第三次に設定したクイズ作りの言語活動では、「なぜ」「どうして」といった「理由をたずねる言葉」、答えるときには、「それは、～～からです。」という言葉を用いて、たんぼぼクイズをつくる指導を行ってきた。その結果、自分の考えを正確に表現することができる児童が見られるようになってきた。

(3) 指導にあたって

「国語の力」を高めるために、次のように仮説に関わる指導を行っていきたい。

①仮説1について

第三次に、海の生き物そのものや共生等にかかわる児童の興味関心を生かして、「海の生き物図鑑作り」という言語活動を設定し、教材文で学習した文章構成を活用しながら書くことを通して、単元の目標に迫ることができるようにする。そのことで、さらに海の生き物に対して興味を持たせたり、本や図鑑を進んで読み進めていく気持ちを高めさせたりしていく。また、友達に紹介するという相手意識を持たせてさらに意識を高めたい。

②仮説2について

児童一人一人が考えを深めたり広げたりしながら意欲的に取り組むことができるようにペアでの教え合いや話し合いの場面を意図的に設定する。

③仮説3について

音読や朝活動を通して、全体場で声を出すことに慣れさせていく。また、話し方や聞き方の手本となる様子を教室に掲示し、意識させることでよりよい言語環境を作っていく。また、読書に関しては、単元導入と同時に学級文庫に海の生き物に関わる本を多く入れることによって関心を高め、本単元へのねらいにも迫っていきたい。

3 単元の目標

- ◎ 海の生き物たちがどのようにかかわり合っているのかを読み取り、共生の仕組みの不思議さに興味をもつことができる。
- いろいろな生き物について調べ、生き物カードを作って交流することができる。
(書くこと)
 - 図書館などの本を読んで、語と語や文と文との続き方に気を付けながら「生きものカード」を作る。
- (読むこと)
 - ◎ 「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。
 - 語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読む。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書くこと	読むこと
○海の生き物の共生関係や、説明文の組み立てに興味をもって読もうとしている。 ○「生きものカード」を作ろうとしている。	○図書館などの本を読んで、「生きものカード」を作ることができる。	○「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。 ○語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読むことができる。

5 単元指導計画（10時間）

次	時	主な学習活動	評価規準（評価方法）
第一次	1 ・ 2	○教科書の写真を見ながら、海の中のイメージを広げる。 ○本文の範読を聞いて、感じたことや考えたことを書き、感想を発表する。 ○学習のめあてを確認する。 ○本文を音読する。 ○新出漢字・語句の確認をする。	【関】写真から想像を広げ、海の生き物について興味をもって読んでいる。(発表・ノート)

第二次	3	①イソギンチャクとクマノミの特徴をカードにまとめる。	【読】 イソギンチャクとクマノミ、ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて、叙述に即して正確に読み取っている。(発表・カード) 【書】 それぞれの生き物について、カードにまとめることができる。(カード)
	4	②イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取る。	
	5	③イソギンチャクとクマノミとのかかわり合いをふきだしにまとめる。	
6	①ホンソメワケベラの特徴をカードにまとめる。		
7	②ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取る。		
8	③ホンソメワケベラと大きな魚とのかかわり合いをふきだしにまとめる。		
第三次	7	○「生きものカード」の書き方を知る。 ○何の海の生き物を紹介するか決め、参考にする本を読む。	【関】 「生きものカード」を作ろうとしている。(観察)
	8	○本を読み、初めて知ったことや不思議に思ったことなどが書いてあるところに付箋を貼り、「生きものカード」に書く材料を集める。	【読】 選んだ本を読み、生き物について、初めて知ったことや不思議だと思ったことを抜き出すことができる。(プリント)
	9 本時	○メモをもとに、文と絵にまとめ、工夫してカードに書く。	【書】 集めた材料をもとに、「生きものカード」を書くことができる。(カード)
	10	○互いに読み合い、間違いを直したり、友達の文章のよさを見つけたりする。	【読】 作ったカードを読み合い、よさを見つけることができる。(発表・ノート)

6 本時の指導 (9 / 10)

(1) 目標

- ・メモを生かし、「生きものカード」を書くことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	発問と予想される反応	指導上の留意点・評価 (*支援 ☆評価)
導入	1 既習のカードを音読する。	○これまでに作ったカードを読みましよう。	
5分	2 本時の課題を確認する。	「生きものカード」を作ろう。	

展 開	3 メモを生かしたカードの書き方を確認する。	○カードに書くことを確認しましょう。 ・生き物の名前、特徴、絵をかく。 ・主語を入れる。 ・「こうして、～のです。」の言葉を使ってまとめる。	*絵は最後に描くこと、特徴については、初めて知ったことや不思議に思ったことを中心にまとめるようにさせる。 *メモを生かした書き方を確かめる。 *本に書かれている言葉を適宜変えることをおさえる。
	4 メモを使って、カードを書く。	○メモを生かしてカードを書きましょう。	☆自分で書きたい情報をまとめて書くことができる。
	5 隣同士でカードの内容を交流する。	○カードをお互いに見せ合って、いいところを見つけ合いましょう。	*交流の視点を与え、よさを見つけさせる。
	6 全体の場で交流する。	○よかった人のカードを発表してください。	
35分			
終 末 5 分	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の学習内容を確認する。	○学習を振り返りましょう。 ○次の時間は、全員のカードを見せ合って、よさを見つけていきましょう。	

(3) 具体の評価規準

◎十分満足できる	○満足できる	支援を要する児童への手立て
メモを使って、主述の照応や、語と語や文と文との続き方に気を付けて「生きものカード」を書くことができる。	メモを使って、「生きものカード」を書くことができる。	メモを読ませてから、口頭で表現させ、文章に表すように促す。

7 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>生きものカード</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>メモ</p> </div>	<p>・ 生きものの名前 ・ おもしろさ ・ 絵 ・ くは、 ・ こうして、～のです。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>サンゴの海の生きものたち</p> <p>「生きものカード」をつくろう。</p> </div>
---	--	---	---

8 参考資料

	書名	作者	出版社
1	森の新聞⑩サンゴの海	ジャック・モイヤー	フレーベル社
2	③さかなのせかい	ルース・トムソン	評論社
3	ヤマケイジュニア図鑑6・海辺の生き物	企画室トリトン編著	山と溪谷社
4	動物・鳥一4 さんご礁の世界	白井祥平著	あかね書房
5	水べの生きもの野外観察ずかん1	武田正倫	ポプラ社
6	海辺の生き物	浅井糸男	旺文社
7	魚	志村隆	学研
8	水の生き物	志村隆	学研
9	サンゴ礁のなぞをさぐって	武田正倫	文研出版
10	科学のアルバム41・サンゴ礁の世界	白井祥平	あかね書房
11	クマノミとサンゴの海の魚たち ちしきのぼけっと5	大方洋二	岩崎書店
12	海べのふしぎな生きものたち	よしぎかずみ とりないけいこ	岩崎書店
13	シリーズ海⑮ マグロ	上柳昭治	らくだ出版
14	写真動物記 ふしぎなイカ	板垣雄弼	新日本出版社
15	新日本動物植物絵本Ⅱ-8 北のさかな 南のさかな	武田正倫 浅井糸男	新日本出版社

